

新大工町
くんち奉賛会発行
平成27年6月
No.3

新大工町ザ・くんち

七年ぶり小屋入りの列 肅々と

6月1日午前6時。まだ人影もまばらな新大工町商店街を太鼓と笛の小気味よい響きが巡りました。シャギリ方にによる起こし太鼓（番太鼓）で、くんちの到来を告げる小屋入りの始まりです。



「7時50分」小屋入り出発式



「8時13分」諏訪神社長坂上り

「9時10分」長坂下り

「10時16分」八坂神社清祓い

「13時30分」打ち込み始柏町

「13時40分」打ち込み桜町付近にて

「15時40分」打ち込み賑町

午前7時50分、町旗を先頭に井上正道奉賛会長以下、小屋入りの隊列が肅々と町事務所を出発。紋付・袴の役員、艶やかな和服姿の舞人、スーツにネクタイの根曳衆、傘鉾組、シャギリ組と続く隊列はおよそ100人に上りました。諏訪神社と八坂神社で清祓いを受けた一行は昼前に帰町。午後から根曳衆を中心に総勢約40人の打ち込み隊が出発しました。今年の年番町、踊町など19ヵ所で囃子、シャギリの打ち込みを行い午後6時すぎに無事、帰町しました。



「18時7分」帰町報告



新大工町の打ち込み隊には、他の踊町から「統制がとれ、勢いもあつて一番よかつた」。町事務所での他町の打ち込みへの対応についても「みんな礼儀正しく、事務所詰めの女性たちの心のこもった拍手など最高のもてなしだった」。

「小屋入り」写真撮影は県立大シーポルト校・映像制作団体シーポ（松永和眞代表）

囃子・先曳関係者も清祓い曳壇尻に乗って囃子を奏で

る子供たちと先曳きの子供たちの清祓いが7日、諏訪神社で行われました。

付添いの町役員や父母らを含むおよそ80人は、9時半過ぎに町事務所を出発。小屋入りと同様に隊列を組んで長坂の階段を上り、諏訪神社で清祓いを受けました。

写真撮影・山口康平氏

『小屋入り・打ち込み』くんちは、6月1日の「小屋入り」から始まり、その年に奉納踊を出す町を踊町といいます。この日の朝、踊町の町役員・出演者が諏訪・八坂両神社で清祓いを受け、稽古の安全と奉納を祈願します。この日から本格的に演し物の稽古に入ります。踊町は午後から、その年の年番町や他の踊町などへ奉納のご挨拶に回りますが、これを「打ち込み」といいます。

